

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東海北陸地区（主担当大学：静岡大学・豊橋技術科学大学・名古屋大学）
事業名	ラーニングcommonsにおける図書館の資源を活用した学習支援
事業目的・趣旨	大学図書館にラーニングcommonsの設置が進む中、図書館における物理的・人的資源を活用した学習支援等の事例の情報を共有し、利用者サービスの向上に資する。
実施内容	開催日時：平成28年10月21日（金）13:30～16:50 会場：名古屋大学附属図書館2階ディスカバリスクエア 主催：東海北陸地区国立大学図書館協会 講師：三重大学地域人材教育開発機構准教授 長澤多代 氏 愛知学院大学図書館情報センター次長 足立祐輔 氏 富山大学附属図書館学術情報部長 内島秀樹 氏 内容：1) 講師3名による図書館におけるラーニングcommonsの支援の在り方について講演 2) パネルディスカッション
事業の成果 （アンケート調査 結果、事業への意 見・感想等）	参加者数：26大学51名 《アンケート調査結果：43名回収》 大変満足：14名、満足：25名、普通：4名 ○主な感想 ・学内で、図書館サービス、図書館ができることをアピールすることの重要性、他部署との連携の重要性、コミュニケーションの大切を再確認した。 ・ラーニングcommonsがどこから始まり、どこへ向かっているのか？がよく解った。また、大学がどちらを向いているのかを把握することの重要性を感じた。 ・これまでの資料ありきではなく、電子的リソースへの対応など、大学のあり方の変化に伴い、図書館、職員も対応していく必要があると改めて認識した。
経費	講師等謝金・旅費 58,610円 雑費 2,600円 合計 61,210円